月潟中学校
学校だより

# 翔舞



Ｒ８　第９号
令和８年１０月２０日
発　　行
新潟市立月潟中学校
新潟市　南区月潟740
☎：375-2106

## 前期の振り返り

前期終了前に生徒は、４月から９月までの半年間を振り返りました。自分の成長を実感することは、次なる目標に向かって一歩踏み出すためのエネルギーとなります。点数や結果の良し悪しだけでなく、「４月にはできなかったことができるようになった」「自分から人の前に立って話すことができるようになった」という変化に自分自身が気付くことは、自分に自信をもてるようになる一歩となります。また同時に「後期に自分はどうしたいのか」という課題も同時にもつことになります。このように、振り返りは、これから自分がどのように歩んでいくかを決めるための大切な道標となります。

今回のお便りでは、前期終業式に学年を代表してスピーチした、３名の生徒の振り返りを紹介します。

１年　〇〇　〇〇さん



私が前期で頑張った事は２つあります。

１つ目は勉強です。私は中学生になって始めてのテストがありました。私は小学生の頃、漢字や英単語などの単語を覚えることが苦手だったので、単語を覚える為に意味を理解して、何回も書くことを頑張りました。だから、小学生の頃よりは漢字の間違いが少なくなりました。ですが、英単語の間違いはまだまだ多いので、後期では、英単語をもっと練習して覚えたいです。数学や理科は授業を聞いて内容は理解できてはいたのですが、凡ミスをしてしまったり、応用問題を間違ってしまったりしてしまったので、もっと授業をよく聞いたり、家で復習をしたりして、内容の理解を深めたいです。

２つ目はクラブです。私は今、月潟音楽倶楽部に入っています。私はユーフォニアムを吹いているのですが、部活に入りたての頃は、少しの音しか出ませんでしたが、今では先輩や先生のおかげで低い音から高い音まで出るようになりました。大道芸フェスティバルや定期演奏会に向けて、自分の苦手なところなどをたくさん練習して、本番では緊張して吹けない所もありましたが、吹ける所も部活に入った時よりも増えて、私も先輩達と一緒に演奏ができるようになりました。後期では吹けないところを無くせるように日々の練習を毎回一生懸命したいです。

後期で特に頑張りたいことは、月輝祭です。私は合唱実行委員になったので、クラスのみんなを引っ張って合唱を聞きにきてくれる保護者の方々を感動させるような歌をみんなで歌いたいです。また、そこで高めた力を活かして、普段の授業の班活動などではみんなの意見や行動をまとめられるようになりたいです。

前期を振り返ると、入学してから今日まであっと言う間に時間が過ぎていました。後期が終わると次は２年生に進級することになります。自信をもって進級できるように、１日１日を大切にして、何事にも勇気を持ってチャレンジする後期にしたいです。

２年　〇〇　〇〇さん



私が前期に頑張ったことは、大きく二つあります。

一つ目は、体育祭運営委員に挑戦したことです。今までみんなの前に立って活動するのが少し苦手でしたが、「やったことのないことに挑戦してみたい」と思い立候補しました。準備や話し合いなどたくさんあって大変でしたが、やり遂げて達成感や自信がつきました。「挑戦してみてよかった」と思います。最初からできないと決めつけずにまずは挑戦してみることが大切だと学びました。

二つ目は、苦手教科を頑張ったことです。今までは最初からあきらめて集中できませんでしたが、期末テストに向けて授業をしっかり聞き、家でも復習を意識しました。最初はうまくできなかったけれど、途中からその教科の勉強の楽しいところを見つけて集中できるようになり、テストも今までより良くなっていました。

前期はこれらを通して、「挑戦すること」と「良い点を見つけること」の大切さを学びました。後期はこの 2 つのことを忘れず、失敗を恐れずに色々なことに挑戦していきたいです。難しいことなどに当たっても、その中から良い点や楽しいところを自分から見つけ、前向きな気持ちを大切にしながら、成長していきたいです。

3年　〇〇　〇〇さん



私の前期を振り返ると、教養委員長として、そして受験生として、多くのことを学んだ半年間でした。

まず委員会活動では、委員長としてみんなをまとめることの難しさを実感しました。自分が頑張るだけでなく、委員一人一人に声をかけ、意見を聞きながら進める必要がありました。うまく意見を聞き出せなかったり、思うようにまとまらなかったりすることもありましたが、周りと協力することや、相手の意見を聞くことの大切さを学びました。後期は、活動の予定や役割を早めに伝え、みんなが見通しを持って行動できるようにしたいです。また、自分だけで判断せず、委員全員の意見を取り入れながら、協力できる委員会を目指していきたいです。

次に勉強では、受験生になったという自覚をもち、授業や家庭学習を大切にしようと意識しました。しかし、特に夏休みは、やらなければいけないと分かっていても、計画通りに進めることができず、思うように学習が進まないことがありました。時間があるから大丈夫だと思って後回しにしてしまったり、苦手な教科から逃げてしまったりしたこともあります。その経験から、ただ勉強時間を増やすだけでなく、計画をたてた上で、進み具合に合わせて見直しながら取り組むことが大切だと感じました。後期は、毎日の学習時間を確保し、苦手な教科も後回しにせず、わからないところは復習したり、先生や友達に質問したりして少しずつ克服していきたいです。

委員会活動や勉強を通して、前期は周りと協力することや、計画を立てて行動することの大切さを学びました。後期は、委員長として周りを見る力をさらに身に付け、受験生としても計画性をもって学習に取り組みたいです。前期にできなかったことをそのままにせず、一つずつを改善しながら、最後まで責任をもって行動し、悔いのない学校生活を送りたいと思います。

# 後期始業式　校長の話より（抜粋）

朝、玄関先でみなさんの登校の様子を見ていると、自分からあいさつする人や大きな声であいさつする人が増えてきています。この成長の背景には、体育祭でのみなさんの活躍や生徒会活動の取組の成果があります。

このようにできるようになったことや高まったところが、後期の新たなスタートラインになります。高まる前の姿に戻ってしまっては残念です。高まった力を２週間後の「月輝祭」でそしてこれからの日常の場面で発揮してもらいたいです。

また、１２月以降は、来年度の準備の時期となります。１、２年生はこれまで高めてきた「個の力」を「集団のよさ」につなげていくこと。３年生は「集団のよさ」を自分につなげて、「個の力」にしていくことが求められます。

月潟中学校全体で力を高めていくことが、来年度の月潟中学校のスタートラインとなります。